

## 富士見町議会行政視察報告書

令和元年 10 月 30 日

富士見町議会  
議長 矢島 尚 様

総務経済常任委員会  
委員長 三井 新成  
社会文教常任委員会  
委員長 川合 弘人

令和元年 9 月議会定例会において議決された議員派遣の結果について、下記の通り報告いたします。

### 記

- 1、調査日 令和元年 10 月 25 日（金）
- 2、調査場所 広島県 東広島市
- 3、参加者 町議会議員 11 名、事務局 1 名 計 12 名

#### (1) 視察目的

- ・平成 30 年 7 月の豪雨災害から 1 年が立ち、今でも復興途上と報道されている。
- ・今回は最も重大な被害を受けた東広島市の皆さんが、災害時どのような取り組みをされたのかを研修し、今後の災害対策の参考になる点を見出す事を目的とし視察した。
- ・今回の視察において、建設部災害復旧推進課の沖田課長や関係者の方々より、本音の部分での取り組み状況の説明をいただき、改めて御礼申し上げます。

#### (2) 広島県東広島市の歩みと概要

- ・市の誕生は昭和 49 年に 4 町の合併により誕生
- ・その後平成 17 年には新たに 5 町が加わった
- ・安芸の国として、アピールをしている
- ・現在の人口は 18 万 8 千人（令和元年現在）で、5 年前は 18 万 4 千人だったので、やや増加気味。
- ・この地方は県のほぼ中央部に位置し、古くは安芸の国の政治・経済・文化の中心地で、江戸時代は九州大宰府に通じる山陽道の宿場町として発展し、本陣も置かれていた

- ・現在は本市を含む3市（呉市、竹原市）と共に、広島中央テクノポリスの建設を進め、研究機関や先端技術産業の集積が進んでいる。

(3) 東広島市の豪雨災害への取り組み状況（概要）

気象予警報等	市の体制、避難情報等
<p>・平成30年7月5日（木）</p> <p>8時8分：大雨注意警報発表</p> <p>16時33分：洪水注意報発表</p> <p>18時43分：洪水警報</p>	<p>8時24分：注意体制</p> <p>17時30分：非常体制（初動） 災害対策本部設置 避難勧告（河内町入野）</p>
<p>・7月6日（金）</p> <p>2時41分：洪水警報解除 ：注意報に切り替え</p> <p>5時40分：大雨警報 （土砂災害）に切り替え</p> <p>10時06分：洪水警報に切り替え</p> <p>17時50分：土砂災害警戒情報発令</p> <p>19時40分：大雨特別警報に切り替え</p>	<p>9時00分：非常体制（非常） 全庁の1/3の職員対応</p> <p>17時30分：避難勧告（6地区） 避難準備・高齢者等避難開始</p> <p>18時50分：避難勧告（市全域）</p> <p>19時45分：避難指示（市全域）</p> <p>21時00分：自衛隊派遣要請</p>
<p>・7月7日（土）</p> <p>10時50分：大雨特別警報解除 警報に切り替え</p> <p>22時19分：洪水警報解除 注意報に切り替え</p>	<p>自衛隊、緊急消防援助隊到着</p>
<p>・7月8日（日）</p> <p>9時23分：洪水警報に切り替え</p> <p>10時45分：洪水警報解除</p>	

気象予警報等	市の体制、避難情報等
<p>・ 7月9日 (月)</p> <p>4時00分：土砂災害警戒警報解除</p> <p>4時23分：大雨警報解除 注意報に切り替え</p> <p>10時06分：大雨注意報解除</p>	<p>5時30分：避難指示解除 (市全域)</p>
<p>・ 7月11日 (水)</p> <p>(雨は上がっていた)</p> <p>13時44分：八本松町正力地区で 住民より通報</p> <p>現地調査：治山堰堤濁水確認</p> <p>14時24分：河内町中河内地区で 住民より通報</p> <p>現地調査：正反田池の堤防異常確認</p>	<p>14時28分：避難指示 (八本松町正力地区)</p> <p>15時24分：避難指示 (河内町中河内地区)</p> <p>17時32分：避難指示解除 (河内町中河内地区)</p>
<p>・ 7月13日 (金)</p>	<p>18時00分：避難指示解除 (八本松町正力地区)</p>

- 7月5日：災害救助法適用
- 7月13日：被災者生活再建支援法適用
- 7月14日：特別非常災害指定
- 7月24日：激甚災害制度指定

(4) 災害対策本部について

- ・ 災害対策は班編成で全職員で対応

(5) 情報発信について

- ・ 緊急告知ラジオ (FM 東広島)
- ・ 市防災メール (登録制)
- ・ 緊急速報メール (docomo、au、Softbank)

(6) 主な被災状況（巻末の写真参照）

- ・死者 49 名、行方不明者 1 名
- ・建物 1 4 9 2 棟
- ・インフラ（道路、河川、農地、水路等） 3242 か所

(7) 復旧対策

①平成 30 年度 7 月豪雨災害の復旧・復興プラン策定

（詳細は東広島市のサイトで確認できます）

②事業の進め方

- ・優先度を決め、公共災と農林災を極力地域一体で発注している

③検証

- ・今回の災害対応について、外部委員（7 名）による検証を行い、その報告書（平成 31 年 3 月）に基づき、東広島市地域防災計画を改定した（詳細は東広島市のサイトで確認できます）

(8) 今後の課題

- ・コミュニティ FM 緊急告知対策
- ・緊急告知ラジオによる情報伝達力の強化
- ・防災活動リーダーの育成
- ・防災まちあるき、情報伝達支援、防災資機材更新支援

(9) 視察での所見

- ・まず、避難指示を出すタイミングの難しさを痛感した。
- ・気象庁の情報発信も遅かったのではないかと感じる。
- ・高齢者や、体の不自由な方への対応は地域の方々の共助が一番大事であると強調されていた。
- ・改めて、自分の身は自分で守る事の大切さを感じた。

（文責 名取 久仁春）



八本松町 正力地区



志和町 志和堀地区 (半川)



河内町 下河内地区 (JR山陽本線)



安芸津町 三津地区 (安芸津駅前：安芸津停車場)